

No.67



SDGsパートナー

古河市

社会福祉法人 古河市社会福祉協議会



あなたを「古河市 SDGs パートナー」として登録します
令和5年9月13日

古河市長 針谷 力

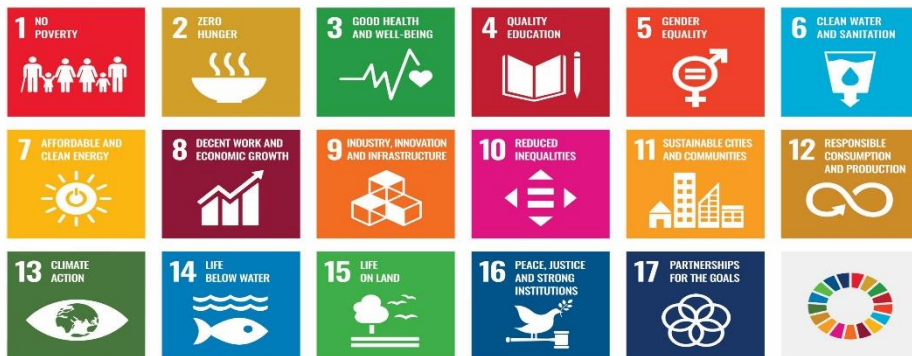


社会福祉法人 古河市社会福祉協議会 SDGs 宣言

【古河市社会福祉協議会は、古河市SDGsのパートナーです】

私たちは、『地域の絆を深め、福祉文化が根づくまち、地域共生社会、古河』を基本理念とし、「誰一人取り残さない、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」の実現に向けて福祉活動に取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

























SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことで2015年9月の国連サミットで採決された2030年までの持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SDGsの17のゴールは、社会的弱者を含めて、一人ひとりを排除や孤立から守り、地域社会の一員として取り組み、支えあう考え方です。日本では、豊かで活力ある「誰一人取り残さない」社会を実現するために、2020年から10年間にわたり、目標達成に向けて積極的に取り組んでいくことが明言されています。

SDGs（持続可能な開発目標）17の目標

目標	SDGsの目標	社会保障・社会福祉との関わり
	1. 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困に終止符を打つ	生活困窮者自立支援/子どもの貧困対策/生活保護/生活福祉資金貸付
	2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	生活困窮者自立支援/子どもの貧困対策/ホームレスへの支援
	3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	総合的な医療・福祉サービスの提供/福祉活動の推進/介護予防
	4. 質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	生活困窮者自立支援/子どもの学習支援
	5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る	困難を抱える女性への支援/特定妊婦への支援/母子生活支援施設における母子への支援
	6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	生活困窮者自立支援/ホームレスへの支援
	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	生活困窮者自立支援/エネルギー効果の改善
	8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する	福祉人材の確保・育成/働き方改革等による人材の定着支援/外国人支援
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	ICT等の活用による介護サービス等の提供
	10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する	ソーシャルインクルージョンの視点に立った福祉サービスの提供/障害者差別解消法による障害者差別の解消
	11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	地域共生社会によるまちづくり
	12. つくる責任つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	持続可能な消費の意識の醸成
	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	災害への備え、災害時福祉支援
	14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	持続可能な消費の意識の醸成
	15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	持続可能な消費の意識の醸成
	16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。	社会福祉法人としての社会的責任の発揮/情報開示、第三者評価事業、苦情解決事業
	17. パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	社会づくりのプラットフォームとしての社会福祉協議会、広域な連携による地域公益活動を実施する社会福祉法人、地域住民に最も近い立場で寄り添う民生委員児童委員の連携による、地域のネットワークの構築 ⇒地域共生社会の推進

古河市社会福祉協議会のSDGs（持続可能な開発目標）取り組み一覧

基本目標	サービス・事業区分	具体的な取組内容	関連する持続可能な開発目標（目指すゴール）
地域づくりのパートナーをとする社会協を支え合える人	災害ボランティアセンターの設置・運営	被災時に災害ボランティアセンターを設置・運営 / スtockヤードこが事業	    
	生活支援体制整備事業	地域での居場所づくり支援 / 協議体の設置等	      
	ふくしチャレンジスクール	ふくしチャレンジスクールがんばっちゃオ! (小学1・2年生) / ふくしチャレンジスクール行っちゃオ! (小学3・4年生) / ふくしチャレンジスクールやっちゃオ! (小学5・6年生)	     
	各種研修・養成講座の開催	認知症サポーター養成講座 / 地域サポーター養成講座 / おもちゃドクター養成講座 / スクウェアステップリーダー養成講座	      
	ももちゃん寺子屋教室	社協事業 / 認知症 / 介護保険制度 / 成年後見制度 / 災害ボランティアセンター / ヤングケアラー / 地域づくり活動 / 赤い羽根共同募金等 説明	      
協層的に支える社会的、必要として支える人を	ふれあいいきいきサロン事業	概ね行政自治会単位においての仲間づくり、交流の場づくりの支援	   
	在宅福祉サービス事業	ももちゃんお助け隊（住民参加型有料在宅福祉サービス）	  
	介護保険・障害者支援関連事業	居宅介護支援事業所/訪問介護事業所/デイステイ事業/特定相談支援事業等	   
	地域包括支援センター事業	古河地区、三和地区地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）事業	     
	福祉用具等貸出事業	車椅子、高齢者疑似体験セット等の貸出	   
社会的権利擁護を寄進する社協	古河市生活支援センター事業	生活困窮者自立支援事業/アウトリーチを通じた継続的支援事業/生活福祉資金貸付事業等	      
	成年後見サポートセンターこが事業	成年後見制度利用推進事業/法人後見受任事業/日常生活自立支援事業	      
	ヤングケアラー支援体制強化事業	ヤングケアラーに関する実態調査及び支援、関係機関との連携・研修会の開催等	       
新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へ信頼を	事務局体制の充実	役員研修開催/地域福祉活動計画の策定・推進/社会福祉大会開催/社協だより発行/苦情解決体制充実/ホームページ・SNSの活用/衛生委員会開催/ハラスメント相談窓口設置/	       
	ふくしまつり開催	福祉に関連した映画上映、福祉体験、フリーマーケット、模擬店等のまつりの開催	     
	赤い羽根共同募金活動	赤い羽根共同募金活動/歳末助け合い募金活動	    